

## 第 1 回幼保小三者連絡会実施報告

- 1 テーマ 「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について  
～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」

2 公開授業の内容

開催日	会場校	実施内容（科目／教諭名）
6月 1日（木）	大岡小学校	1年1組「生活」 高田 絵莉
		2年1組「国語」 山田 寛子
6月30日（金）	新宿小学校	1年1組「国語」 児玉 香織
		1年2組「算数」 岩附 汐美
		2年1組「算数」 根岸 力輝
		2年2組「図工」 田中 典子

- 3 参加人数（公開授業）
- |       |     |
|-------|-----|
| 大岡小学校 | 31人 |
| 新宿小学校 | 40人 |
| 計     | 71人 |

令和5年度幼保小三者連絡会 研究協議記録

日にち 令和5年6月1日(木)

会場 大岡小学校

研究協議において各班から出た主な意見・感想

**1班(座長:峯氏)**

- ・漢字のつくりや同じ部分を見つける授業を見学して、大人ではなかなか気づけないようなところに気づいていたことに感心した。
- ・まとめ方や書き方がグループによってさまざまで、そのような異なる内容を、発表を通して相手の考えを受け止める、認めてもらうことができる内容がとても良かった。
- ・形としてとらえるなど、漢字を習っていないからこそ楽しめる授業になっていて、興味を持って学ぶことができると感じた。
- ・授業で自分が使うものを用意できていることに感心した。
- ・グループの代表者を選出することはまだ難しいが、グループで話をする練習をしている。
- ・相手の考えを聞きながら、周りの様子を見ながら学んでいた。
- ・グループワークにすると、できる子やわからない子、苦手な子も一緒になるので、刺激になると感じた。
- ・幼保小の接続について、保育園・幼稚園では時間の区切りをあまりしないが、小学校に入るときっちり時間で動くようになるので、気持ちの切り替えができていないことが多い。
- ・入学前の園児たちは小学校を意識し始めており、期待と不安を持っている。
- ・入学前の準備として、20分で給食を食べたり、雑巾がけのお掃除を行ったりしていることを聞いたことがある。
- ・休み時間にトイレを済ませる習慣が身についていない。トイレを忘れて遊んでしまう。
- ・遊具を使う時に、子どもたちの腕の力に差がある。
- ・ハサミを使う経験をしてもらえるとありがたい。
- ・幼稚園ではその場の状況を自分の言葉でお話する力を身につけられるようにしている。
- ・幼保で同じ方向性で保育をしないと小学校の先生は大変なのではないか。
- ・ICTで学びを見える化をして幼保小で共有するとよい。
- ・学びと生活で教えることを分けることが大切。
- ・声のかけすぎは主体性を奪う。待つ保育が大切であり、教育の主体は子どもである。
- ・幼児教育の見学も来てほしい。
- ・雑談力が大事

## 2班（座長：竹内氏）

- ・今回の公開授業は、幼児教育で育まれた経験等を活かして実施した。
- ・幼保小接続に向けて、幼稚園等に在籍しているときに小学校に訪問してもらい、交流の機会を確保している。
- ・幼稚園等の日々の生活で培ってきた話の聞き方、先生への質問の仕方等の経験は小学校においても活かされている。
- ・幼稚園等で行っていた一人遊びが、小学校では集団遊びに変わっていくところを大切にしている。
- ・幼稚園等では子どもたちの遊びに大人が介入し過ぎないように、答え等を先回りして準備しないようしている。
- ・小学校に進学して興味が続くようにしている。
- ・気付きは子ども、共感や大人が行うことを大切にしている。
- ・子どもたちに自尊感情を持ってもらうことが大切。
- ・整理整頓や友達との関わり方等、自分たちで解決できるよう見守り、声かけを大切にしている。
- ・子どもがやってみたいことに耳を傾け、自分を大切に、自分を好きになるように保育している。
- ・子ども同士の関わりを大切に、グループ活動を多く取り入れ、子どもたちに決めてもらうようにしている。
- ・小学校で特別な配慮が必要な子どもは、幼稚園等や保護者との連携や対応など、信頼関係作りに努めている。
- ・ICT教育について、参加者が所属するどの幼稚園等でも、子どもたち向けのICT教育が行われておらず、ほとんどが保護者向けの情報発信や、小学校では保護者からの欠席時の連絡に活用している。

### 3班 (座長：小佐野氏)

- ・ 答えを与えるのではなく、「どうしたらよいか？」を考える力を引き出す保育を心がけている。
- ・ ひとりひとりの「つぶやき」も大切にしている。
- ・ 幼稚園での2年間の育ちを考え、自分で考えて動けるよう保育をしている。先に言わないように努め、子ども達で考える時間を大切にしている。
- ・ 園での動物の飼育、観察を子ども同士で発言し合う姿は、小学校へつながっていると感じた。
- ・ 噛みつきやひっかきが多い中、された側のお友達の気持ちを伝えるようにしている。
- ・ 活動の中で、自信のない子には「どうしたらいい？」と聞き、それを肯定し、子ども同士で相談して取り組んでいる。
- ・ 前日夕方に、翌日の予定を子ども達に伝え、翌朝、再確認する。年度末に、年長児主体のお祭りを開催するのだが、子ども達で考える力を育てている。
- ・ 朝、1日の流れを伝えている。準備や片付けなど、子ども達が意識しており、逆に子どもに指摘されることもある。
- ・ 時間割主体の園なのだが、鼓笛の楽器は子ども達に選択させている。
- ・ 時計はまだ読めない子もいるので、「時計の針が、3になったら〇〇〇だよ。」と伝える。
- ・ 小学校での生活に困らないよう、園で取り組んでいただいていることがわかった。入学したら「人の話が聞ける」「静かにできる」「呼ばれたら返事ができる」が大切である。
- ・ 字が読めない子には、遊び（お手紙など）を通して学べるようにしている。書きたい、読みたいという意欲を大切にしている。
- ・ 小学校入学時、平仮名の読み書きには個人差があるが、読み書きできない子は一生懸命追いつこうと頑張る姿が見受けられる。本来は、小学校で習うものだと思う。
- ・ 目立たない子にもリーダーをやらせてもらう。光を当てると良いところが光ってくる。
- ・ オーバーアクションが大事。先生やお友達に褒められると成長する。特に、偏食に有効。
- ・ 苦手な子こそ、褒めてあげることが大事。
- ・ 小学校での給食は、4時間目を早めに切り上げ、最初は35分設けていた。食器具は、基本箸。スプーンフォークを持参する子もいるが、規制はしていない。
- ・ 小学校では、給食は無理には食べさせない。
- ・ 制作が早く終わってしまった子に、先生役を頼むとほかの子も刺激され、早く取り組むようになる。
- ・ 消極的な子には、オーバーアクションで褒めてあげたり、丸付けを一緒にしてあげる。
- ・ できる子ができない子をサポートできるのは、園での取り組みのおかげである。
- ・ それぞれの園でのやり方は違うが、生活の基盤を統一して取り組んでほしい。
- ・ 自分で考えて動けないと、環境が変わった時に対応できない。
- ・ 小学校で困らないために保育しているのではなく、今のこの時期につけていくべき力をつけるためにやっている。

## 幼保小三者連絡会 アンケート結果

日にち 令和5年6月1日(木)

会場校 大岡小学校

参加者 公開授業 31人

研究協議 28人

アンケート回収 27枚

### 1. 所属

(単位:人)

幼稚園	保育園	小学校	計
6	14	7	27

### 2. 参加回数

(単位:人)

初めて	2回目	3回目	4回目以上	計
15	5	0	7	27

### 3. 参加してみたの感想

(単位:人)

大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
24	1	1	0	0	1	27

### 4. 良かった点、物足りない点

- ・(幼稚園) 小学校の授業を見る機会はなかなかないので、このような機会があり、大変貴重な体験をさせていただいたと思っています。子ども達が自主性を持ち、自信を持ってのびのびと授業を受けている様子が印象的でした。普段から先生方が子どもたちに丁寧に接していることが窺えて、大変良かったです。
- ・(幼稚園) 小学校の先生・保育園の先生ともお話出来て参考になりました。3・4年生や支援級も見られたら嬉しかったです。
- ・(幼稚園) 小学校の様子を見る機会はなかなかないので、参観ができて良かったです。協議会で小学校の先生のお話を伺えた事も大変参考になりました。入園に向けて必要なことも伺えて良かったです。
- ・(幼稚園) 今回、初めて参加させていただき、子どもたちが小学生になると、とても成長していると感じました。2年生の授業では、グループでの話し合っている中で、自分の意見と異なる点があると、話し合う姿や、紙を回して向きを考えられるようになっている様子など、周りを見られるようになっていると思いました。また、話し合ったことをまとめる際には、子どもの姿を見て1つ1つ丁寧に行っていたところが印象にありました。

- ・(幼稚園) 授業の様子や小学校就学へ向けて、何が必要なのか話し合いの中で学ぶことが出来ました。また、小学校で困っていることなど聞くことが出来たので、今後の保育へと繋げていきたいと思います。
- ・(幼稚園) 今回が初めての参加でしたが、小学校の授業が客観的に見られて良かったです。特に2年生の授業では、漢字のグループ分けを行うことで漢字そのものに興味を持ち主体的に学べるということに気づき、保育に活かせる点だなと思いました。まだまだ様々な授業も見てみたいと感じました。また、もっと人数の多い学校の授業も見てみたいと感じました。
- ・(保育園) 初めて参加させていただいたが、今年度年長児の担任をしているため、就学に向けて実際の小学校での授業の様子を見る事ができて良かった。先生方の子どもたちに向き合う姿勢、声掛け等も参考にさせていただきたいと思った。
- ・(保育園) 子ども一人ひとりの発言する姿やクラスの友達との関わりを見る事ができて良かったです。子どもに合わせた関わり方なども知ることができ、とても勉強になった部分がありました。
- ・(保育園) 1クラスの人数が少なく、とても和やかな雰囲気だった。4月から1年生になった子ども達がどのように学校に馴染んでいくのか、今回の公開授業を見て勉強だけでなく色々な面からアプローチしていつてくれているのだと知れました。正解・不正解ではなく1人1人が自分の考えを発表できて、それを聴いてくれる先生や友達がいるのは嬉しく貴重な体験だと思う。
- ・(保育園) 2学年を見させていただくことで1年での成長が見られたことが大変参考になりました。幼稚園、保育園からの生活の違いなどを先生方がしっかりとサポートされていることが良く伝わってきて声掛けの方法や伝え方なども勉強になりました。他園の先生とのコミュニケーションを取ることができ、参考になりました。
- ・(保育園) 小学校の授業を初めて見学させていただき、子どもたちの様子、成長がとても嬉しかったです。また、他の保育園、幼稚園の保育内容、取り組みについても話を伺うことができて、大変勉強になりました。
- ・(保育園) いつも通りの子どもの姿、いつも通りの先生の姿が見られてとてもよかったです。1・2年生の先生達の対応がとても温かみがあって、“小学校”という敷居の高さを感じさせず、とてもいい雰囲気の授業でした。
- ・(保育園) 初めて参加しましたが、卒園児の2か月経ってからの様子はとても成長した部分もあり、変わってない部分もあり、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。教育の方針、やり方も学校によっては違うと思いますが、少しの時間でしたが、楽しかったです。
- ・(保育園) 実際の授業の様子を拝見することで、子ども達の様子や先生のねらいをよく考えることが出来ました。また、具体的に小学校の先生の困り、幼稚園で成長してきてほしいことをお聞きすることができ、とても参考になりました。
- ・(保育園) グループ協議の内容で“幼・保における「主体的・対話的で深い学び」等に向けた資質・能力の育み”は、どんな取り組みを行っているのか各園での配慮を知ることが出来ました。特に印象に残ったものは、子ども達の心を満足させる充実した経験が小

学校へ進学した際にも「やってみたい」という興味・関心に繋がり、主体性を育むことができるのだと感じました。自分を出せるような環境で過ごすことで、人間関係も良好になり楽しい学びになるのだと思いました。

- ・(保育園) 公開授業では、小学校の先生がいかに主体性を大切にしているかということが実感できました。1年生の発表でとても小さい声の児童に対して、先生は声を大きくするよう言うこともなく、その児童の発表をゆっくりと見守っており、「発表をする」ということに重きを置いているのだと感じた。こういった関わりによって、子ども達は自分が受け入れられていると安心し、自分を出していけるようになるのだと、勉強になった。全体の話し合いでは、小学校の先生との接続における認識の違い(平仮名はどこまで覚えるべきか)について知ることができ、有意義であった。
- ・(保育園) 1年生、2年生の授業を拝見し、卒園後まだ2か月、1年と2か月という短い期間の間に45分の授業にいきいきと参加し集中し、発表している姿に感銘を覚えました。小学校の先生方の教材研究とご準備等の大変さを感じ、幼保期に子ども達が体験しておいたら良いと思われること等、具体的にアドバイスいただきたく思います。
- ・(保育園) とても有意義な話し合いが出来ました。時間もとても良かったです。
- ・(保育園) 卒園児の成長を見る事が出来た。
- ・(保育園) 授業で卒園生が発表をしたり、協力し合っている姿を見ることができ良かったです。
- ・(小学校) 幼稚園や保育園でどんな取り組みがされているか知ることができたのと、接続の際の課題などが共有できた点です。
- ・(小学校) 良かった点は、他校の子ども達の様子が見られたことです。どの子もよく活動していました。幼稚園の「主体的」な学びを大切にされていることも知ることが出来ました。できれば、5時間目の授業の初めから見たかったです。今日のために授業等準備いただきありがとうございました。
- ・(小学校) 少人数で落ち着いて学習に取り組んでいた。お友達の発表を聞いて質問やつけたしができていた。
- ・(小学校) 実際の授業が見られてよかったです。
- ・(小学校) 様々な意見が聞けてよかったです。
- ・(小学校) 他校の1・2年生の様子を見ることができ、たいへん勉強になりました。松二小で参加した時にも記入しましたが、せっかく授業を公開していただくのに、開会行事が原因で最初から参観できないことが引き続いての疑問です。ご検討ください。

5. 今後の三者連絡会の実施方法等についてご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

- ・(幼稚園) 小学校の先生のお話も聞け、情報共有もできてとても有意義な時間でした。
- ・(幼稚園) 実際に小学校の先生や保育園等の先生方と関わる事があまりなかったので、貴重な機会となりました。
- ・(保育園) 今回の三者連絡会が初めての参加になりましたが、グループワークなども少人数で話しやすく分かりやすかったです。
- ・(保育園) 幼保小の連携にとって、とっても大事な事なので今後も活発に行ってほしいです。1年生が「学校が楽しい!」と思えることはとっても大切な事なので、この連携で、

そのつまづきを最小限にしていきたい。

- (保育園) 貴重なお時間を過ごさせて頂きありがとうございました。
- (保育園) 本日はありがとうございました。とても勉強になりました。また、参加させて頂ければと思います。
- (保育園) 園児が5歳児のうちに2回程、学区の小学校へ招待を受けたり、訪問するなど、年長児と小学生の交流の日を設けていただけたら、ありがたく存じます。ご検討の程、宜しくお願い致します。
- (小学校) 小学校と幼・保で一緒にアプローチプログラム・スタートプログラムをつくる機会があると、幼・保から小学校への接続がよりスムーズになると思います。小学校の数が多くて調整が難しいと思いますが、ここだけは、というところが、できるとよいと思う。
- (小学校) 毎年低学年担任という可能性は少ないですが、参加するたび勉強になります。

令和5年度幼保小三者連絡会 研究協議記録

日にち 令和5年6月30日(金)

会場 新宿小学校

研究協議において各班から出た主な意見・感想

**1班(座長:峯氏)**

- ・学ぶに遊びが加わると子どもの反応が変わる
- ・遊びを通じて今しかできない体験や子ども主体に取り組むことを大切にしている
- ・話し合いは子ども主体で進めている
- ・間違っても主体的な気持ちや考えを認めてあげることが大切
- ・挑戦することが大切であり、失敗したらなぜという気づき生まれる
- ・集団教育は仲間とともに学び合うこと基本となっている
- ・話す時間と聞く時間をそれぞれ持つことが大切
- ・生活(家庭)の中で実体験不足が多い
- ・幼児教育で大事なことは自立させること
- ・友達同士認め合うことが大切、自己肯定感が育つ

**2班(座長:中村氏)**

〈授業を見た感想について〉

- ・生徒一人ひとりに話す機会を設けていたところが良かった。
- ・先生が一人ひとり名前を呼んで、声をかけているところがいいと感じた。
- ・イラストを使用して視覚的に学べるようにしていたり、算数では水を用いたりしていて、わかりやすい教え方だと感じた。
- ・否定的な声掛けでなく、みんなが納得できるような声掛けをしていて、参考にしたいと感じた。
- ・注意するよりも褒めることのほうが多く、生徒たちの意欲に繋がっていると感じた。
- ・生徒たちに個人差がある中で、足並みをそろえていく指導は大変だろうと思った。
- ・静かにほかの生徒を待ってから話ができるようになっていて成長を感じた。
- ・クラスによって異なるカラーがあった。
- ・しっかり目を見て言葉をかけていることで、生徒たちのやる気につながっていると感じた。
- ・幼稚園・保育園で学んだことを嬉しそうに教えてくれたり、発言してくれたりしている。(松二小長島先生)

〈幼稚園・保育園で小学校入学に向けて身につけさせていること〉

- ・素直に目を見て話をしっかり聞けるようにしている。
- ・小学校に入ってから通学班で通うときに上級生についていけるように、園庭でよく遊ぶことで

体力をつけるようにしている。

- ・あいさつをしっかりできるようにしている。
- ・小学校に入る前に給食の食べず嫌いが少なくなるように気を付けている
- ・おうちの人にも協力をお願いしてバランスの良い食事、食事のマナーを身に付けられるようにしている。
- ・20分で給食を食べきることを目標としているが、個人に差があるので、前日より早く食べられた、などと個々に目標を設定して行っている。

〈小学校の先生からの要望〉

- ・集団生活において必要な、静かに待つことが難しい生徒が多い。(健康診断時など)
- ・給食を時間内に食べきらない生徒がいるため、時間で区切りをつけてしまっている。
- ・生活面を学んで入学してきてもらえるとありがたい。
- ・着替え、給食の好き嫌いなど、生活習慣を身に付けておいてほしい。

〈支援学級・発達障害について〉

- ・新宿小にはさくらルームという特別学級とは別の支援がある。
- ・学びについていけずに遅れてしまっている生徒など、個別に支援をしたほうが良い生徒を保護者の了承を得てさくらルームで教えている。
- ・発達障害について、幼稚園・保育園から保護者に説明をしても、保護者が認めたくないケースが多く、理解を得る必要がある。

〈保護者から理解を得るための策・意見〉

- ・保護者に開園中の保育園に来てもらって、自分の子どもだけでなく、先生の様子も見学しながらお手伝いをしてもらうボランティアを行っている。その見学の中で、ほかの子どもの様子で自分の子どもの様子を比べて気づく保護者もいる。
- ・2～3歳の時点で、市で相談に乗れるところがあればよいのではないか。
- ・療育の施設利用料を市が補填する制度があればよいのではないか。
- ・幼稚園・保育園と療育の施設を併用できることを知ってもらえれば、理解が進むのではないか。

### 3班（座長：本嶋氏）

- ・当園は平仮名や数字の勉強はしないが、遊びの中で覚えられるようにしている。
- ・小さなことでも褒めることを大事にしている。
- ・子ども達が考えて行動できるように保育している。
- ・個から集団の活動が増える中で、発言する力、お友達の話聞く力をつけられるように保育している。
- ・トラブル時は、相手の気持ちを伝えるようにしている。
- ・保育園は保育時間が長いので、メリハリのあるような声掛けを心がけている。
- ・自分を見て欲しい、認めてほしい、と愛情に満たされない子が多いので、褒めることを大事にしている。ルールは繰り返し、伝えている。特に、細かい部分は丁寧に伝えるようにしている。
- ・異年齢保育は大切な保育である。小さい子へのいたわりの心が育ったり、小さい子は大きい子への憧れを抱いたりする。危ない時は、大きい子に問いかけ考えてもらうことにより、気づきが生まれる。
- ・園での午睡はいつまでしているか？
  - ・3歳児までは午睡あり。4歳児は家庭と相談。5歳児は午睡なし。
    - ・保育園は保育時間が長いので、5歳児の年明けまで午睡あり。午睡をしないと、ケガや病気が増える。
    - ・5歳児の12月頃からなくしている。赤ちゃんも含め、全体的に就寝時間が遅いので、午睡をなくすことは難しい。
- ・学校の給食時間（食べる時間）は、15～20分程度。メニューやその日の段取りによって、臨機応変に対応している。食べられそうにない時は、事前に減らしたり、「何分までだよ。」と先の見通しを持たせるようにしている。
- ・園での給食時間は、お弁当は好きなものは入っているので10分前後で食べ終わるが、給食になると1時間かかる場合もある。小学校に行って心配である。
- ・小学校入学に向けて、どんなところまで育てていくのが良いのか、大事にしてほしいところなどを知りたい。
  - ・準備、片付けなど、自分のことは自分でできるように。
    - ・思いやりの心を持つ、相手のことを考えて人に迷惑をかけないように。
- ・保育中、授業中、トイレに行きたくなってしまふ子の対応について
  - ・飽きると行きたくなってしまふようなので、違うことをして気持ちを切り替える
    - ・休み時間に行ったか、確認する
- ・昨今、保護者対応にも悩まされるが、伝える時は、良いことと悪いことを一緒に伝えるようにしている。

## 幼保小三者連絡会 アンケート結果

日にち 令和5年6月30日(金)

会場校 新宿小学校

参加者 公開授業 40人

研究協議 37人

アンケート回収 33枚

### 1. 所属 (単位:人)

幼稚園	保育園	小学校	その他	計
7	18	7	1 (行政)	33

### 2. 参加回数 (単位:人)

初めて	2回目	3回目	4回目以上	計
13	6	4	10	33

### 3. 参加してみたの感想 (単位:人)

大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
25	7	1	0	0	0	33

### 4. 今年度の幼保小三者連絡会の開催回数は、いかがですか。

多い	ちょうどよい	少ない	その他	未記入	計
0	25	7	1	0	33

### 5. 良かった点、物足りない点

- ・(幼稚園) 協議の時間もとても勉強になりましたが、公開授業の回数を増やしていただき、互いに連携していく架け橋になるといいかと思います。
- ・(幼稚園) それぞれの園のやり方などがわかり、また小学校での姿も知ることができたので、とても良い機会だった。ありがとうございました。  
小学校へ向けて再度職員同士で話し合っていきたいと思うことができました。
- ・(幼稚園) 小学校の先生が細かく質問に答えて下さり嬉しかったです。そのような場がもっとあればと思います。
- ・(幼稚園) 小学校の先生や保育園の先生の取り組みについて知ったり、実際の子どもの姿を見ることが出来たりして、とても参考になりました。

- ・(幼稚園) 実際に小学校の授業風景を見たり、現場の先生方と意見交換をすることができたりしたことで、幼稚園でも取り入れられる部分や新たな考え、同じ考えをもっているなどが分かったことがとても良かったです。
- ・(幼稚園) 久しぶりに幼保小三者連絡会に参加でき、様々な立場の先生方からのお話を伺え、とても充実した時間となりました。同じ地区内の職員同士がより、現場に添った会話ができる嬉しそうです。
- ・(幼稚園) 公開授業を見せていただいて、小学校の様子を自分で感じとれたこと。
- ・(保育園) 卒園児の様子が伺えてよかったです。
- ・(保育園) 各校の校長先生方からのコメントもいただきました。
- ・(保育園) 卒園した後、どのような授業を受けているのか、子どもの様子はどうかなどを実際に見ることができてよかった。他園の話聞き、情報を共有したり、保育の方向性を知ることができたりと、有意義な時間となりました。
- ・(保育園) 良かった点は、他の施設の方と意見交換ができたこと。小学校の授業を具体的にみることで、小学校への見通しが持てたこと。暑かったこと、待機時間（授業から研究協議の間）以外は、充実した時間でした。
- ・(保育園) いろいろな園や小学校の取り組みが聞けて良かったです。改善するところなど詳しいことを聞けて、今後も参加したいと思いました。
- ・(保育園) 小学校に入学するまでに身につけてほしい事など、実際に小学校先生からお聞きすることができ良かったです。幼保小の連携の大切さを改めて実感しました。
- ・(保育園) 久しぶりに小学校での子ども達の姿を見られて良かった。小学校、幼稚園、保育園、たくさん話が聞けたので、これからの保育に役立てていきたい。
- ・(保育園) 他園、小学校と話し合いをすることで、勉強になることが多く良かったです。小学校に行くまでに、やっておいた方がいいことも聞けて良かったです。
- ・(保育園) 小学校での様子を見て、保育園で過ごしている中で育んでいきたい力を新たに気づくことができる。また、他園や小学校の先生方のお話を聞いて勉強になることがたくさんあった。
- ・(保育園) もう少し、小学校の先生の話（子どもの実際の幼保出身の子のことなど）、聞いてみたかった。
- ・(保育園) 要録を小学校の先生が、どのように見て、どのくらい参考にしているかを聞いてみたかった。
- ・(保育園) 卒園させた子ども達の授業の様子、態度等を近くで見ることができて嬉しそうです。もっと様々な学年の授業も見させていただければと思います。
- ・(保育園) 他園や小学校の話聞くことができ、今後の参考になりました。
- ・(保育園) 1・2年生クラスを見学させていただくことにより、取り組み方や学校の様子がよくわかりました。もう少し学校の話が聞きたかったです。
- ・(保育園) 小学校の授業の様子や雰囲気が見られたこと、他の園や小学校との意見交換や様子を聞くことができたことが良かったと思います。ありがとうございました。
- ・(保育園) 保育園を卒園した子ども達が、学校でもその子らしくいられている姿を見られて安心しました。小学校でうまくなじめるか、という心配もありますが、その子のいい所を

つぶさず伸ばしてもらえる先生方の見方を見られて良かったです。子ども達が自ら興味・関心をもって意欲的に学べるよう、保育園でもいろんな経験と遊びの充実を今後とも心がけていきたいと思います。

- ・(保育園) それぞれの授業の中で、子ども達にどのようにしたら分かりやすく伝わるかが工夫されていて良かった。
- ・(小学校) 立場の異なる方々のお話が聞けて参考になりました。幼保小の連携をさらに進め、子ども達の教育を進めていけるといいなと思いました。
- ・(小学校) 自校を他校と比較したり、児童や学級に対してどのように指導されているのか、参観させていただき、とても良い機会だった。幼・保の先生方の話を直接聞くことができ、様子を知ることができた。
- ・(小学校) 幼稚園や保育園での活動がよくわかりました。改めて、連携の大切さを感じました。
- ・(小学校) 保育園や幼稚園での実践をきくことができ良かった。保育園や幼稚園でしっかりと教育されて、小学校に上がってきていることがわかった。小学校は保育園でやっていることを理解しなければいけないし、小学校はそれを生かして子どもの成長につなげないといけないことがわかった。やはり、保育園から保護者との連携が大切。参加してとても勉強になった。
- ・(小学校) 幼稚園や保育園での生活の様子をお聞きすることができ、大変勉強になりました。研究協議の時間をたっぷりとっていただいたので、たくさんのお話を聞くことができ、ありがたかったです。
- ・(小学校) もう少し、それぞれの幼・保の先生方との意見交換を進めていきたいと思いました。そのためにも、もう少し準備が必要だと感じました。
- ・(小学校) 話し合いの中で、幼稚園や保育園での様子がわかった。
- ・(小学校) 幼保小、それぞれの立場から生の声や意見を聞いて大変参考になった。円滑に小学校へ進学するためには、幼保時代から、生活面、特に家庭での躾が大切であると感じた。

6. 今後の三者連絡会の実施方法等についてご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

- ・(幼稚園) 今回は、1・2年生でしたが、その他の学年も見てみたいです。1コマで4クラスを見るには、物足りなさがあるので、授業2コマ程とっていただけると嬉しいです。小学校の先生にも幼保の姿を見ていただきたいです。
- ・(幼稚園) とても良いと思います。
- ・(幼稚園) 更に具体的に、要録でどんなことを知りたいのかやどんな連携が出来るかなどを話し合える場があると良いのではと感じました。
- ・(幼稚園) 参加させていただき、ありがとうございました。次回も楽しみにしております。
- ・(保育園) 研究協議の時間は、もう少し短くても良いのではないかと思います。また、授業を見る際に、参加者の中にお子さんに話かけたり、手を振ったりする方がいたので、気をつけたほうが良いと思います。
- ・(保育園) もう少し、短時間で2か月に一度くらいで少人数で分科会のようなものを開催すると、小学校との連携が濃くなるのではと思います。
- ・(保育園) 小学校の子ども達は、集中力が切れてしまう時間かもしれませんが、保育園側からは、

時期・時間ともにちょうど良いと思います。

- ・(小学校) それぞれの聞いてみたいところをまとめて情報交換交流をすると効率的ではないかと思いました。
- ・(小学校) できたらいいのですが、自分が担任している児童の幼稚園、保育園の先生と交流できたらいいなと思いました。